

| | | |
|-------|---|--|
| プログラム | アメリカ実学研修とカナダ語学研修はどんなところが違いますか？何を基準に選べば良いのでしょうか？ | カナダ語学研修の目的は英語学習です。他方で、アメリカ実学研修は、英語でアメリカの農業・食・農業・環境、ミシガン州立大学(MSU)の教育研究内容を学ぶプログラムです。 カナダ研修では、プリティッシュコロンビア大学(UBC)の付属語学学校が全世界の学生に向け開講しているGlobal Citizenship through English on Campusに参加し、レベル別に分かれたクラスで、世界各国から参加する学生たちと共に集中的に英語を学びます。 アメリカ研修は、MSUが農大生のためにプロデュースしてくれたオリジナルプログラムで、MSU教員による講義、農業・研究施設見学、フィールドトリップなどで構成されており、個人旅行では決して経験することのできないMSUの教育研究内容に触れることができます。 これらの特徴を踏まえ、ご自身の目的に合った研修コースを選択してください。 |
| 費用 | 現地での宿泊先はどんなところですか？ | カナダ語学研修はホームステイとなります。(ホストファミリーはUBCが手配) アメリカ実学研修はホテル滞在となります。 |
| 費用 | 申込金は、参加費用とは別に支払いが必要ですか？ | 申込金は、参加費用の一部となります。2回目の支払いは参加費用総額から申込金を差し引いた金額となります。 |
| 費用 | 派遣中止となった場合、費用は全額返還されますか？ | 相手国政府の方針・基準が変更され且つ、現地大学よりも日本からの訪問者受け入れが拒否された場合、返金の対象となりますが、返金額については、現地校等と協議の上、ご案内となります。尚、参加者にご加入いただく海外旅行保険には「旅行変更特約」が付保されており、渡航前PCR検査で陽性となり参加不可となった場合は、キャンセル料金が補償されます。 |
| 費用 | 申込金支払い前(合格後すぐ)のキャンセルにはお金はかかりませんか？ | 申込金支払い前にキャンセルされた場合、キャンセル料は発生しません。 |
| 費用 | 参加費用の他に支払い必要な経費はありますか？ | 参加費用に含まれない経費については、パンフレット表紙左下に記載されている【代金に含まれないもの】をご確認ください。 なお、日本政府が定める水際対策により、帰国後の隔離等が必要となった場合、それらに係る費用は自己負担となります。 |
| 費用 | 現地で支払いが必要な費用はありますか？ | 食費や個人のお土産代、カナダ研修の場合はホームステイ先からUBCまでの交通費、自由参加アクティビティの参加費などが想定されます。 カナダコースでは、1日3食ホストファミリーが提供してくれます。(通学する日はランチボックスを用意してくれます。)その他の経費等については、UBC pre-departure handbook をご参照ください。 https://eli.ubc.ca/sites/eli.ubc.ca/files/uploads/documents/student-pre-departure-handbook.pdf アメリカコースでは、一部の食事はプログラムに含まれますが、含まれない食事は各自現地で購入します。食費の目安はキャンパス内で1食5ドル程度～、キャンパス外で10～15ドル程度で、たいていの場所でクレジットカードが使用できます。 イーストラッシングでは簡単な自炊ができるキッチン付きのホテルに宿泊予定です。(未確定) https://www.marriott.com/hotels/travel/lants-towneplace-suites-east-lansing/ |
| 申込・選考 | 2コースの併願は可能でしょうか？また、両コースともに参加することは可能でしょうか？ | 今年度は募集定員に対し、多くの応募が見込まれますので、よりご自身の目的・希望に合ったコースを1つ選んで応募してください。 |
| 申込・選考 | 選考はどのように行われますか？GTEC(英語テスト)スコアはどのように影響しますか？ | 「応募動機」と「GTECスコア」を総合的に評価し、可否を決定します。GTECスコアが高い方が選考上優位になります。 |
| 申込・選考 | GTECのスコアはどれくらい取る必要がありますか。例年の基準を教えてください。 | GTECの導入は今年度が初めてであり、基準はありません。 |
| 申込・選考 | 学部4年生も参加できますか？ | はい、参加可能です。 |
| 申込・選考 | 大学院生も参加できますか？ | 短期派遣プログラムは学部向けに構築されたプログラムですが、大学院生も参加は可能です。ただし、大学院生は「インターナショナル・スタディーズ(2)」の履修はできません。 |
| 単位・履修 | 単位取得はできますか？ | 後学期科目「インターナショナル・スタディーズ(2)」での単位付与対象プログラムです。 |
| 単位・履修 | CAP制でこれ以上の単位を取ることができないのですが、プログラムに参加する人は「インターナショナル・スタディーズ(2)」を必ず履修しなければならないのでしょうか。 | 「インターナショナル・スタディーズ(2)」を履修しない方も参加可能です。 |
| 単位・履修 | 前期科目「インターナショナル・スタディーズ(1)」を履修していませんが、「インターナショナル・スタディーズ(2)」対象である短期派遣プログラムに参加することは可能ですか？ | 短期派遣プログラム参加前に「インターナショナル・スタディーズ(1)」を履修しておくことをお勧めしますが、「インターナショナル・スタディーズ(1)」を履修していない方も短期派遣プログラムに参加可能です。 |
| 単位・履修 | 帰国後、何をする必要がありますか？報告書提出は必要ですか？ | 帰国後1週間以内の帰国後アンケート・帰国報告書提出、GTEC再受検は全参加者の義務として必ず提出・受検いただきます。また帰国報告会(10月中の昼休み時間にオンラインで開催予定)での報告や次年度説明会への協力(体験談発表)もお願いしています。 |
| コロナ関連 | 外務省が定める海外安全情報の「感染症危険情報」レベルでの派遣中止の基準はありますか？ | 「感染症危険情報」レベルの悪化のみを基準とした渡航中止判断はしません。ただし、派遣先国政府による水際対策強化(日本からの渡航者受入禁止等)などによりプログラム遂行が不可能になった場合は派遣中止となります。 |
| コロナ関連 | ワクチン接種は必須ですか？ | ワクチン接種(最低2回)を終え、有効なワクチン接種証明書をご用意ください。これがない場合、現地到着後アメリカは7日間、カナダは14日間の隔離期間が生じますので、研修が成立しません。なお、健康上の理由により接種が困難な場合はご相談ください。(2022年4月15日時点) |
| コロナ関連 | ワクチン接種は3回した方が良いでしょうか？ | ワクチン接種を3回済ませておくことをお勧めします。3回目接種を終えていない場合、日本帰着後の隔離期間が必要となる等、水際対策上の制約が多くなります。(2022年4月15日時点) |
| コロナ関連 | 日本帰着後の自己隔離に係る費用は誰が負担しますか？ | 日本帰着後に自己隔離が必要となった場合、これに係る費用は自己負担となります。なお、4月13日時点の基準では、ワクチン接種3回を済ませ、到着時PCR検査が陰性となった場合、自己隔離は不要です。ワクチン接種2回の場合のみ、日間の隔離が必要となります。 |
| その他 | 春の短期派遣プログラムは、どのような国に派遣予定でしょうか。 | 確定した情報ではありませんが、語学研修はカナダ(UBC)、オーストラリア(西シドニー大)、実学研修はタンザニア(ソコイネ農大)、ケニア(ジョモケニヤッタ農工大)、カンボジア(王立農大)などの国を派遣先候補として現在調整中です。 |
| その他 | 夏の短期派遣プログラム参加者が、春の短期派遣プログラムに参加することはできますか？ | 可能です。 |
| その他 | 春期短期派遣プログラムも「インターナショナル・スタディーズ(2)」の対象となりますか？ | 春期短期プログラムも「インターナショナル・スタディーズ(2)」の対象ですが、次年度後学期での履修となります。このため、卒業直前の4年生春期に参加する場合は単位化することができません。 |